

雪あかり

金沢の風物詩「雪つり」をモチーフとしてデザインされた雪あかり。様々な太さ・色の糸が編み込まれた線織面が光で照らされ、雪の結晶のような美しさを作り出している。



あかり庭

あかり庭は剪定で不必要となった竹を利用したあかりオブジェ。巨大な遊具として、昼夜を通して子供たちの遊び場となる。毎年、竹の組み方を変えることで異なる姿がデザインされている。



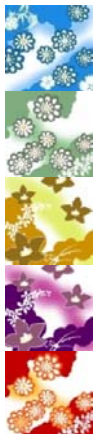
あかり草木

下から照らされる竹ひごが風に吹かれ、揺らぎの風景を創出する。



あかり路

伝統的な木工技術の活用により、幾何学的にデザインされたあかり庭。加賀五彩をベースとした透かしがデザインされている。あかり路のフレームである立体格子の組み合わせにより、加賀五彩の絵柄が自由に組み替えられる。



あかり山

あかり山は竹ひごを格子状に組んだフレームに加賀手毬のように糸を巻き、光源を入れ、温かみのある立体的な行燈のデザインになっている。



星あかり

星あかりは調光回路の使用により、ゆるやかな点滅を繰り返す。その姿は、金沢21世紀美術館のガラスに映り込み、何倍にも増幅する。



竹あかり

「竹あかり」はテンセグリティ構造によるスペースオブジェ。圧縮材のパイプが照明により照らし出され、浮遊感が表現される。

